

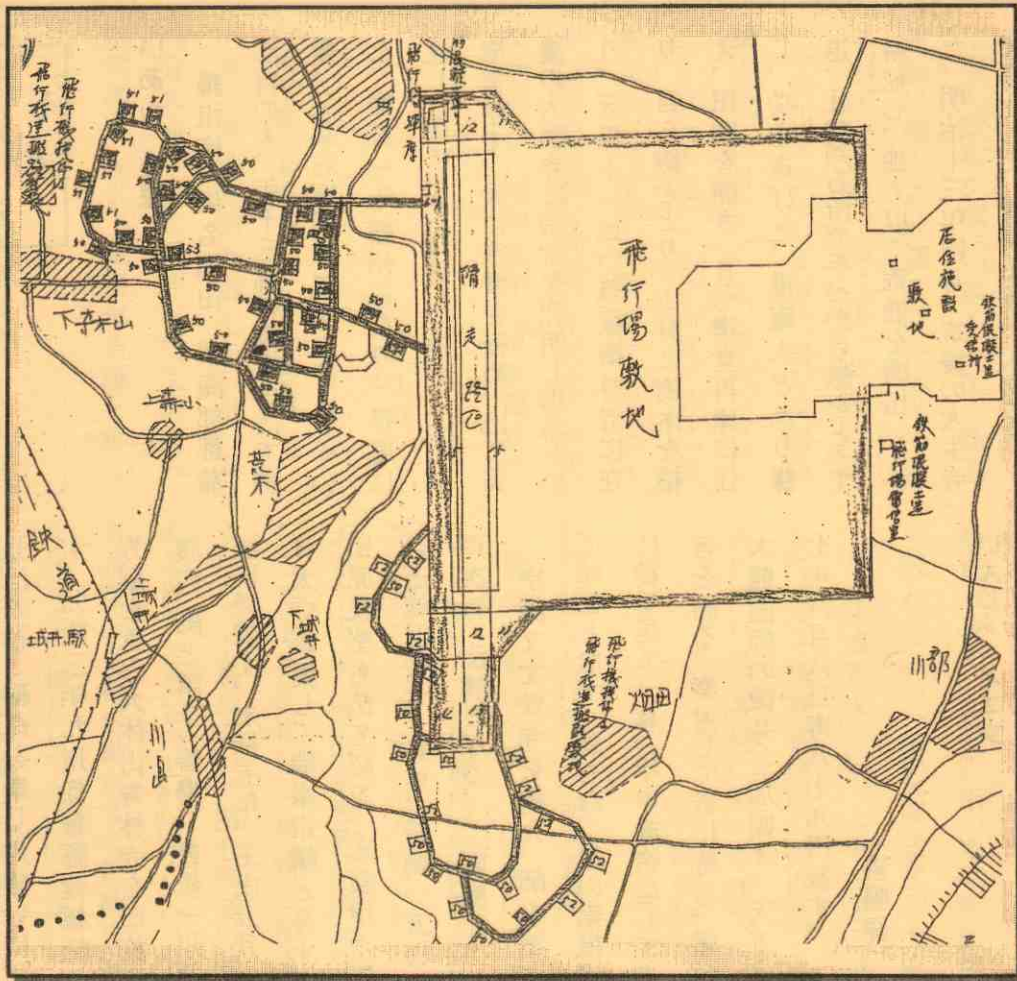
宇佐市民図書館 2003.06

郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
<http://www.usa-public-library.jp/>

今日の表紙

宇佐海軍航空基地位置図(部分)。原図は縮尺一万分の一(掲載部分は50%縮小)。



- ◆今日の表紙・宇佐海軍航空基地位置図(部分)
- ◆宇佐海軍航空基地位置図の施設名称
- ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(13)
- ◆新着郷土資料目録・平成十五(二〇〇三)年【5月】

4 2 1 1

宇佐海軍航空基地位置図

施設名称

- 601 桜花用プラットホーム
- 53 有蓋掩体中改用
- 52 有蓋掩体零戦用
- 51 無蓋掩体小戦機用
- 50 無蓋掩体
- 15 滑走路西側舗装
- 14 飛行場拡張敷地第二期
- 13 滑走路舗装第三期
- 12 滑走路舗装第二期
- 11 飛行場拡張敷地第一期

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (13)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

いあ

いあん 惟庵

諱祖権。俗名梶田。南海部郡蒲江村の人。年十三郷の東光寺にて剃髪。父兵右衛門漁胤を生計としていた。惟庵一年播州に在り一草庵に住し、朝に出て行鉢し、夕に入つて拈据苦学す。大に宗乗を極め、出て美濃の大勝寺に宗旨を究明し得るといふ。天保十一年、筑後梅林寺に在り、自ら鋏をとり、山野に樹木を植え、田圃を開き、且つ講堂再建に任じ、功を遂げた。惟庵人と為り謙退、且つ到る所で手づから鋏をとつて耕耘し、独力以て荒地を開拓していた。明治十三年四月、筑後の大生寺で遷化した。世寿七十一であった。

(偉人伝)

いんぜんじ 怡雲禪師

諱宗悦。江州堅田荘の人。弘治の初、綸命を奉じ大徳寺に住す。弘治三年九州都督源義鎮師の芳猷を歎み大休山寿林寺を白杵に初め、師と請う(善鳴)。豊後一州禪法に帰依す。永祿五年、壬戌五月一日太守剃髪して瑞峯宗麟と号す。田原親堅も法名紹忍、志賀伊予守を道輝と号す。其外、朽網一万田、戸次皆、法鉢となる。(興慶記)

(善鳴録)

いえじょ イエ女

西国東郡玉津村の人。弘化四年生れ。父玄岱医を業とす。母は田川郡の人。幼時、父と離別して顔さえ

知らぬ。父玄岱、中風に罹る。家遂困難である。イエも他家に嫁していたが、夫に乞い、生家に帰えり病父に奉養していたが、同村某氏の乳母となり身の代以て養わんとした。某氏其孝心に感じ、食を与えて父に餉らしめた。明治四年、藩侯松平忠和其の孝を賞めて包を賜い里門に表彰された。

いぎょういん ぼつかい

易行院法海

日田長福寺宝月二子。字日藏。橘州、日南の号あり。肥後広徳寺に住し、本山学頭となる。易行院と号す。博覧強記。勤王を経とし、忠孝を諱とす。当時僧風奢侈、常に絹帛を服す。法海懇ろに訓諭し自ら範を示す。後改まり麻布を着る事となつたので、感被衣と号した。一日雲華山陽を伴い、法海を訪う。山陽楠公伝を示す。法海時に経を念じてい

た。曰く不孝の人の忠臣伝を作る、若し楠公地下に之を聞く、必ず屑とすまい。老袖亦不孝の人に見ゆるを屑とせずと。言畢つて経を念ずる、始めの如しと。山陽背に行して曰く、真に一宗の学頭であると。翌日出発、母を芸州に迎えしという。天保五年六十七歳で入寂した。

(偉人伝)

いくち・とうじ 生地冬至

杵築藩士浅井氏。柏園の継子となり弱冠上京し、皇典を究め、帰郷社若宮社司を継ぎ、国風を嗜み、又、史実を究む。著書に杵築叢談、柏園文集あり。遺墨多し。

いくち・はくえん 生地柏園

杵築若宮八幡社司。名泰通。歌を善くす。

いくの・だんろく 生野団六

明治十一年生まれ。大分郡植田村米造の長男。金沢高校を経て東京帝大工科を三十五年卒業し、鉄道に入り、鉄道技師となり、鉄道国有に際し敏腕を揮い、四十一年、鉄道運転に関する取調のため欧米に留学を命ぜられ、満三年、各国巡遊し、同四十五年、日本代表で交通会議の為、伯林に会した。帰りジャパ・ツーリスト・ビュロー(現JTB)を創立し、鉄道局運転課長、大正九年、名古屋電気局長、十四年、台湾交通局長、昭和五年、京浜電鉄社長となった。

(人士録)

いくやま・まささだ 生山政貞

生山次郎左衛門貞生の三男。安芸守政貞は宇佐郡拜田村生山氏の祖である。初め、藤四郎貞雄と称した。文明元年

築城郡城井、企救郡長野二氏大友

に叛いたので、大友軍之を糸口山に邀え戦う。政貞、其先鋒を承り、政貞猿渡川を渡り、戦陣の功を顕わしたので速見郡轟の地を賜い、織部を政貞と改め、文明四年、更に拜田村を賜わつたので、柵を築き在番土着した。政貞大永六年、八十九歳で歿した。其子兵庫助貞政、孫貞直、大友氏に仕え、各地に戦功を建てた。

(宇佐史論)

いけなが・しげのり 池永重則

重則左馬頭と称す。池永の城主にして薦社々司を兼ね。父を筑後守房勝と云う。宇佐氏の支族である。天正十五年、黒田孝高豊前に封ぜ

らるや土功を起し中津城を築造す。孝高子長政をして城池修築の課役を肯せざるものを討伐せしむ。十日長政上毛郡を戡定せし餘威を以て兵三千に將として丸山城を發し、

二手に分れ、池永城に攻寄せたり。

重則は兼ねて期したることなれば一族郎党に都合八百五十人と籠城し、敵を間近に引寄せて城門より一時にどつと関を揚げて打て出て刀を限りに揉合たり。されど敵は数度の戦に名を得たる剛のもの殊に目にあまる大軍なれば見る見る中に切立られたる処へ紅の小袖に白綾の鉢巻し、大薙刀を携えたる一美人女房左右に引具し、城中より駈出て声高く

妾ころは宇佐大官司公建が女、重則が妻ぞいて一世の思出。妾が太刀風見よとて薙刀をとり、当たるを幸い十三騎切て落とし、城中へさつと引入けり。黒田勢は持たる楯を突立て城門に詰寄たり。重則今は是迄なりと一族二十余人と共に最後の盃汲し交へし心閑かに自殺せり。因に重則の嫡子公吉は宇佐大官司到津公憲の養子たりし。

新着郷土資料目録 平成15(2003)年【5月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 愛育班員 全国大会 第35回/恩賜財団母子愛育会/2003.4/A369.4ホ/(寄贈)
- 宇佐市総合計画 後期基本計画 第4次/宇佐市総務部企画課/2003.3/A318.14/(寄贈)
- 宇佐神宮みこしと東大寺の大仏をさんばい 大仏完成1250年記念
/宇佐八幡神輿フェスタ振興協議会/2003.3/A709ウ/(寄贈)
- 宇佐神宮神輿 東大寺御神幸/宇佐八幡神輿フェスタ実行委員会/2003.3/A709ウ/(寄贈)
- 大分県立歴史博物館 研究紀要4/大分県立歴史博物館/2003.3/A069オ/(寄贈)
- 家庭教育手帳 大分県版/文部科学省/2003/A379.9モ/(寄贈)
- 家庭教育手帳 大分県版 【点字資料】/文部科学省/2003/T379.9モ/(寄贈)
- 家庭教育ノート 大分県版 平成15年/文部科学省/2003/A379.9モ/(寄贈)
- 清瀬保二の世界/豊の国宇佐市塾/1997/A760ト/(寄贈・複本)
- 生誕100年記念 清瀬保二の世界[パンフレット]/大分県文化振興財団/2000.3/A760キ/(寄贈・複本)
- 昭和の大横綱 双葉山定次と宇佐/宇佐:三和文庫運営協議会/ハヌマン/2003.3/A788ハ/(寄贈・複本)
- 野上弥生子賞読書感想文全国コンクール 講演集/大分県立図書館/2003.3/A019オ/(寄贈・複本)
- 豊後国安岐郷の調査・資料編/大分県立歴史博物館/2003.3/A204オ/(寄贈)
- 逃亡者市九郎/伊達虔/学習研究社/2003/A913ダ/(購入)
- 海軍航空の基礎知識/雨倉孝之/光人社/2003/A390ア/(購入)
- (株)共立四日市銀行営業報告書[ファイル入り・冊子5冊]/宇佐:共立四日市銀行/1897/A338キ/(購入)
- (株)共立四日市銀行目論見書及仮定款[ファイル入り]/宇佐:共立四日市銀行/1897/A338キ/(購入)
- (株)長洲銀行営業報告書 第1期(明治26~)/宇佐:長洲銀行/1894/A338ナ/(購入)
- (株)長洲銀行定款[ファイル入り]/宇佐:長洲銀行/1894/A338ナ/(購入)
- (株)長洲貯蓄銀行営業報告書 第3期~5期(明治29~30)/宇佐:長洲貯蓄銀行/1897/A338/(購入)
- 秘録・大分県の戦後政治(IV)1975-1984/清原芳治/大分合同新聞社/2003.3/A207キ/(購入)
- (株)柳浦銀行営業報告書 第12期・明治33年上半期/宇佐:柳浦銀行/A388ヤ/(購入)
- 柳浦製糸株式会社定款/宇佐:柳浦製糸株式会社/1898/A580ヤ/(購入)
- 柳浦製糸株式会社 明治32年度営業報告/宇佐:柳浦製糸株式会社/1901/A580ヤ/(購入)
- 大分地理 第1号/大分大学教育学部地理学教室/1987.8/A290オ/(保管転換)